

社団法人 石油学会

平成20年度 事業計画案

1. 庶務事項

平成20年度も前年度に引き続き会員拡大年間として入会金を免除し、会員の増強活動を積極的に推進する。

2. 講演会, 討論会, 研究発表会ならびに見学会等の事業計画

月	日	曜	名 称	開 催 地
平成20年				
5	15	木	第49回通常総会, 第51回年会—受賞講演, 特別講演 創立50周年記念式典, 記念講演, 記念祝賀会	東京 アルカディア市ヶ谷
	16	金	受賞講演, 第57回研究発表会, JPIJSポスターセッション	
6	6	金	創立50周年記念第28回絶縁油分科会研究発表会	京都 京都テルサ
9	26	金	創立50周年記念第8回 回転機研究討論会	東京 青少年総合センター
11	4	火	創立50周年記念国際シンポジウム—ウェルカムパーティー	東京 青少年総合センター
	5	水	創立50周年記念国際シンポジウム—基調講演, 懇親会 (部会講演会・討論会, 24th JPI Petroleum Refining Conference, 第38回石油・石油化学討論会, 第39回装置研 究討論会, JPIJSポスターセッション, 交流会)	
	6	木		
7	金			
11	16	日	第18回日本—サウジアラビア合同セミナー	サウジアラビア・ダハラン市
平成21年				
1	19	月	設備維持規格講習会 (配管・設備, 計装)	大阪 天満研修センター
1	20	火	設備維持規格講習会 (回転機, 電気)	大阪 天満研修センター
1	20	火	第10回日本—クウェート合同セミナー	クウェート・アハマディ市
1	21	水		
1	22	木	設備維持規格講習会 (回転機, 電気)	東京 青少年総合センター
1	26	月	設備維持規格講習会 (配管・設備, 計装)	東京 青少年総合センター
2	15	日	設備維持管理士認定試験 (配管・設備, 回転機, 計装, 電気)	東京 日本青年館ホテル 大阪 天満研修センター
2	—	—	創立50周年記念第34回精製パネル討論会	東京
3	—	—	創立50周年記念第9回電気講演討論会	東京
3	—	—	創立50周年記念第26回計装研究討論会	東京

3. 創立50周年記念事業

- (1) 平成20年5月15日(木)に東京・アルカディア市ヶ谷において、記念式典, 記念講演会, 記念祝賀会を開催する。
- (2) 平成20年11月4日(火)~7日(金)に東京・青少年総合センターにて開催する「創立50周年記念国際シンポジウム」を企画し, 実施する。

4. 研究助成

前年度に続き、若手研究者および部会への助成公募を行い、適格者を選考し、研究助成金を交付する。

5. 会務部門

(1) 支部活動

[北海道支部]

- 1) 平成20年7月19日(土)に日本化学会北海道支部と夏季研究発表会を共催(北見)する。
- 2) 平成20年11月以降に日本エネルギー学会北海道支部と第9回北海道支部講演会を共催(函館)する。
- 3) 平成21年2月に日本エネルギー学会北海道支部と第9回北海道支部研究発表会(第9回北海道エネルギー資源環境研究発表会)を共催(札幌)する。
- 4) 実践的石油学講習—企業の若手技術者と大学院修士学生を対象に石油会社事業所内で大学教員による実践的石油学演習—を企画・実施する。

[東北支部]

- 1) 平成20年8~9月に大学院生を対象とした新日本石油(株)仙台製油所見学会を企画・実施する。
- 2) 平成20年10月に触媒学会東北地区講演会を共催する。
- 3) 平成20年11月に第28回東北支部講演会を企画・実施する。

[東海支部]

- 1) 東海地区の石油精製会社4社にて大学院生7名を対象に行うインターンシップ事業を助成する。
- 2) 勉強会および製油所見学会を企画・実施する。
- 3) 平成21年秋季大会(第39回石油・石油化学討論会)開催に向けて準備を行う。

[関西支部]

- 1) 平成20年5月に研究機関・企業見学会を企画・実施する。
- 2) 平成20年9月に第16回学生企業見学会を企画・実施する。
- 3) 平成20年秋に第15回関西支部セミナーを日本エネルギー学会関西支部と共催する。
- 4) 平成20年下期に第17回研究発表会を日本エネルギー学会関西支部と共催する。
- 5) JPIJS関西地区とセミナーを共催する。

[中国・四国支部]

- 1) 平成20年11月に中国・四国支部創立30周年記念講演会(第28回中国・四国支部講演会)を開催する。
- 2) 平成21年2月に第13回中国・四国支部技術交流会を開催する。
- 3) 中国・四国地区の製油所・事業所にて学部・大学院生7名を対象に行うインターンシップ事業を助成する。

[九州・沖縄支部]

- 1) 平成20年5月30日(金)に第14回九州・沖縄支部講演会を企画・実施(福岡)する。
- 2) 平成20年8月に第15回九州・沖縄支部講演会をJPIJS九州・沖縄地区と共催する。
- 3) 平成20年秋に第16回九州・沖縄支部講演会を企画・実施(北九州)する。
- 4) 平成20年冬に第17回九州・沖縄支部講演会を企画・実施する。

(2) 広報活動

- 1) HPの内容の一層の充実、維持管理に努める。
- 2) 石油学会から発信する情報、提言を検討する。
- 3) 前年度同様、学会活動を適宜新聞各社に紹介する。

(3) ジュニア・ソサイアティ(JPIJS)の活動

- 1) 平成20年5月16日(金)に第13回JPIJS若手研究者のためのポスターセッションを開催する。
- 2) 平成20年11月6日(木)創立50周年記念JPIJS英語ポスターセッションを開催する。
- 3) その他、全国においての活動は次のとおりである。
 - [北海道・東北地区]
 - ・平成20年8月9日(土)、10日(日)に第48回オーロラセミナーを触媒学会北海道地区と共催する。
 - ・平成21年1～2月に北海道大学で北海道・東北地区JPIJS講演会を開催する。
 - [関東地区]
 - ・平成20年10～11月に「省エネ、CO₂削減」等のテーマでセミナーを開催する。
 - [関西地区]
 - ・日本エネルギー学会関西支部と共催で、コロキウムを開催する。
 - ・セミナーと企業見学会を開催する。
 - [九州地区]
 - ・若手シンポジウムを化学工学会と共催する。
 - ・地区講演または見学会を石油学会九州・沖縄支部と共催する。
 - [JS研究会]
 - ・「炭化水素の転換と水素・合成ガス製造」研究会は平成20年度も継続する。
 - ・「合成して新しいゼオライトをつくろうね会」を平成20年度に新設する。
 - ・講演会を開催する(平成20年秋を予定)。
 - ・研究会ホームページを作成・情報公開する。
- 4) ペトロテックの「JPIJSだより」およびHPにて、各地区の行事の案内、結果報告などの広報活動を行う。

6. 学術刊行部門

ペトロテック(一般誌、月刊)ならびにJournal of the Japan Petroleum Institute(論文誌、隔月刊)を発行する。また論文誌のオンラインジャーナルを冊子体刊行から2カ月後に発行する。既に発行された石油学会誌およびJournal of the Japan Petroleum Instituteのアーカイブ化および公開に向けた準備を行う。

7. 研究・技術交流部門

(1) 表彰

- 1) 石油学会表彰規程により表彰を行う。
- 2) 野口記念賞表彰規程により表彰を行う。

(2) 教育委員会

移動大学「石油関連セミナー」を前年度に引き続き開催する。

(3) 受託業務

- 1) (株)石油産業技術研究所から「自動車の運転性調査」「ディーゼル車の燃料供給システム調査」について受託し、調査・研究を実施する。
- 2) (財)国際石油交流センターから「産油国研究者との現地交流(第18回日本-サウジアラビア合同セミナー、第10回日本-クウェート合同セミナー)」および「産油国研究者の受入」について受託し、調査・研究を実施する。
- 3) 外部団体からの調査・研究の受託については積極的に取り組む。

(4) 外部団体に対する協力

他学協会、その他関連団体からの事業の共催、協賛などの要請には、理事会の審議を経て協力する。

8. 部会部門

(1) 資源部会

- 1) 創立50周年記念国際シンポジウムにおいて、平成20年11月5日(水)に開催の「資源部会講演会」を企画し、実施する。
- 2) 埋蔵量フォーラム
昨年度に引き続き、埋蔵量の定義である SEC 基準と WPC-SPE 基準の相違点と問題点について調査、検討する。

(2) 精製部会

- 1) 創立50周年記念国際シンポジウムにおいて、平成20年11月5日(水)、6日(木)に開催の「24th JPI Petroleum Refining Conference」を企画し、実施する。
- 2) 平成21年2月に「第34回精製パネル討論会」を企画し、実施する。

(3) 石油化学部会

- 1) 創立50周年記念国際シンポジウムにおいて、平成20年11月5日(水)に開催の「石油化学部会講演会」を企画し、実施する。
- 2) 平成20年11月5日(水)～7日(金)に開催の創立50周年記念国際シンポジウムにおける「第38回石油・石油化学討論会」に協力する。
- 3) 各分科会において勉強会を企画し、実施する。

(4) 製品部会

- 1) 創立50周年記念国際シンポジウムにおいて、平成20年11月5日(水)、6日(木)に開催の「石油製品討論会」を企画し、実施する。
- 2) ガソリン分科会
 - a) (株)石油産業技術研究所から「自動車の運転性調査」について受託し、調査・研究を実施する。
 - b) JPI-5R-5-93 [リサーチ法及びモータ法オクタン価測定マニュアル] の見直しを実施する。
 - c) CFRオクタン価のリサーチ法およびモータ法JIS規格改定作業に協力する。
 - d) 第36回CFRオクタン価照合試験を実施する。
- 3) 燃料油分科会
 - a) (株)石油産業技術研究所から「ディーゼル車の燃料供給システムに関する調査」について受託し、調査・研究を実施する。
 - b) JPI-5R-39-93 [セタン価測定マニュアル] の見直しを実施する。
 - c) CFRセタン価測定方法のJIS規格改定作業に協力する。
- 4) 潤滑油分科会
 - a) エンジン汚れ評価に関するJPI規格普及のため、レイティングシンポジウムを開催する。
 - b) 自動車用ギヤ歯面損傷に関するギヤ歯面評価法の規格化について検討する。
 - c) JPI規格を英文化する際に生じる問題点を調査する。
- 5) アスファルト分科会
アスファルト組成について、TLC/FID法による分析方法の検討を行う。
- 6) 絶縁油分科会
 - a) 平成20年6月6日(金)に「創立50周年記念第28回絶縁油分科会研究発表会」を企画し、実施する。
 - b) 絶縁油のJIS規格の改定について検討を行う。
 - c) 絶縁油関連の文献を調査し、最新情報の共有化を図る。
 - d) 絶縁油に関する海外規格の実態調査、検討を行う。
 - e) 絶縁油の体積抵抗率、誘電正接の測定法について検討を行う。

- 7) 試験分析分科会
 - a) FAME混合軽油の分析方法のJPI規格を制定する。
 - b) XRFによる潤滑油製品中の金属元素分析方法について検討する。
 - c) 石油製品中のクマリン分析方法の規格化について検討を行う。
 - d) JPI-5S-46「灯油の過酸化価試験方法」の規格改訂を検討する。
- (5) 装置部会
 - (5-1) 装置委員会
 - 1) 創立50周年記念国際シンポジウムにおいて、平成20年11月5日(水)、6日(木)に開催の「第39回装置研究討論会」を企画し、実施する。
 - 2) 機器分科会
 - a) 回転機専門委員会、機器WGによる機器分科会関係規格の見直しおよび技術資料の作成を、前年度に引き続き実施する。
 - b) 平成20年9月26日(金)に「創立50周年記念第8回 回転機研究討論会」を企画し、実施する。
 - 3) 配管分科会
フランジ専門委員会、バルブ専門委員会、ガスケット専門委員会、管及び管継手専門委員会、配管基準専門委員会の活動を前年度に引き続き実施する。
 - 4) 設備保全分科会
 - a) 設備技術専門委員会の活動として、委員会内講演会、情報交換会、見学会を実施する。
 - b) 平成20年9月19日(金)に「創立50周年記念第21回設備保全分科会シンポジウム」を企画し、実施する。
 - 5) 計装分科会
 - a) 平成21年3月に「第26回計装研究討論会」を企画し、実施する。
 - b) 計装技術専門委員会の活動として勉強会・見学会の開催、アンケート調査、維持規格改訂作業への支援を行う。
 - 6) 電気分科会
 - a) 平成21年3月に「第9回電気講演討論会」を企画し、実施する。
 - b) 電気専門委員会の活動として、安全・技術情報の収集、見学会の開催、維持規格改訂作業への支援を行う。
 - 7) 保安分科会
各社の環境・安全に対する取組みの実態・問題点を調査し、活動指針を作成する。
 - (5-2) 設備維持規格委員会
石油精製業の事業所における設備の性能を維持し、事故の防止と保安の確保を図るため、事業所内における設備の維持規格の制定および改訂作業を実施する。新たな規格として8月を目処に「屋外タンク維持規格」を作成する。
- (6) 経営情報部会
 - 1) 創立50周年記念国際シンポジウムにおいて、平成20年11月6日(木)に開催の「経営情報部会講演会」を企画し、実施する。
 - 2) WGを設置し、調査・検討を行い、年度末にWG活動成果報告会を実施する。
- (7) 新エネルギー部会
 - 1) 創立50周年記念国際シンポジウムにおいて、平成20年11月7日(金)に開催の「新エネルギー部会講演会」を企画し、実施する。
 - 2) (財)石油産業活性化センターからの依頼により「将来型燃料高度利用技術開発事業」の調査・研究を受託する予定。
 - 3) 次世代のバイオマス燃料について、既存技術情報の収集・整理を行う。

9. 認証部門

(1) 溶接士の認定事業

- 1) 前年度に引き続き、認定事業を行う。なお、現有のJPI技量資格4種の免許証発行業務は、6月1日から(社)日本溶接協会に移管する。
- 2) 溶接士検定委員会の活動として、技量検定基準の見直し、全国規模での溶接関連情報の交換を前年度に引き続き実施する。

(2) 標準物質の認証事業

- 1) 前年度に引き続き、重油硫黄分、重油窒素分、ニッケル・バナジウム分、FIA用、軽油硫黄分、標準ガソリン、軽油流動点および引火点の認証事業を行う。
- 2) 分析技術の進展や、需要を見ながら、新規認証および認証中止の検討を行う。

(3) 設備維持管理士の認定事業

- 1) 設備維持規格講習会（回転機）を平成21年1月22日(木)に東京、平成21年1月20日(火)に大阪で実施する。
- 2) 設備維持規格講習会（電気）を平成21年1月22日(木)に東京、平成21年1月20日(火)に大阪で実施する。
- 3) 設備維持規格講習会（配管・設備）を平成21年1月26日(月)に東京、平成21年1月19日(月)に大阪で実施する。
- 4) 設備維持規格講習会（計装）を平成21年1月26日(月)に東京、平成21年1月19日(月)に大阪で実施する。
- 5) 設備維持管理士認定試験（配管・設備、回転機、計装、電気）を平成21年2月15日(日)に東京および大阪で実施する。
- 6) 設備維持管理士の更新講習（配管・設備）を平成21年2月24日(火)に東京、平成21年2月20日(金)に大阪で実施する。